

健康 進取 敬愛

北中だより

文責：三田 康弘

生徒の皆さんへ

北中学校の部活動の歴史（県大会出場以上）

- 昭和35年10月
県中体連庭球大会において、男子庭球部が優勝。
- 昭和37年12月
県中体連駅伝大会において、陸上部が優勝。
- 昭和55年8月
県中学校総合体育大会において、男子庭球部が優勝し、関東大会に出場。
- 昭和59年7月
県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。男子体操部が優勝し、関東大会に出場。
- 昭和60年6月
県中学校春季大会において、サッカー部が準優勝。総合体育大会においてダンス部が最優秀賞。
- 昭和61年7月
県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。男子体操部が優勝し、関東中学校体操競技会で、第三位。全国大会に出場し、男子跳馬個人優勝。
県中学校総合体育大会において、女子バレー部が準優勝し、関東大会に出場。
- 昭和62年7月
県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。男子体操部が準優勝し、関東大会に出場。
- 昭和63年7月
県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。
- 平成元年11月
県中学校新人大会において、男子バスケットボール部が優勝。
- 平成2年6月
県春季大会において、男子バスケットボール部が優勝。県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。県中学校総合体育大会において、男子バスケットボール部が優勝し、関東大会に出場。全国中学校高等学校ダンスコンクールでダンス部が第二位。
- 平成3年8月
県中学校総合体育大会において、女子バスケットボール部が準優勝、関東大会に出場。
- 平成4年6月
県春季大会において、女子バスケットボール部が準優勝。県中学校総合体育大会において、ダ

ンス部が最優秀賞。県中学校新人大会において、女子バスケットボール部が優勝。

○平成6年10月

少年の主張県大会において、最優秀賞。県中学校新人大会において、女子バスケットボール部が優勝。

○平成7年8月

県中学校総合体育大会において、女子バスケットボール部が優勝。関東大会において、女子バスケットボール部が優勝し、全国大会で準優勝。

○平成8年7月

県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。少年の主張県大会において、最優秀賞。

○平成9年7月

県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。

○平成10年7月

県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。県中学校総合体育大会において、女子バスケットボール部が優勝。

○平成11年7月

県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。県中学校新人大会において、女子バスケットボール部が準優勝

○平成12年8月

県中学校総合体育大会において、女子バスケットボール部が優勝し、関東大会に出場。

○平成14年7月

県中学校総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。

○平成20年7月

県中体連総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。

○平成22年7月

県中体連総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。

○平成23年7月

県中体連総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。

○平成25年7月

県中体連総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。

○平成26年7月

県中体連総合体育大会において、ダンス部が最優秀賞。

最後まで諦めない『北中魂』はこれからも受け継がれていく

上の一覧は、県大会出場というラインで区切ったものです。おそらくこれら県大会出場の陰には、感動的な試合や見ている人の心をふるわせた試合や演奏がたくさんあったことでしょう。そのことを考えても皆さんの母校である北中学校がどれほど素晴らしい学校であり、先輩達がどのような苦勞をして、『北中魂』という伝統を築いてこられたのかが伺われます。

皆さん全員がこの『北中魂』という伝統を受け継いでいるのです。ぜひ、そのことを誇りにして、これからの部活動や日常の生活、勉強に励んでほしいです。

また今回、県大会へ出場される代表の人達は、北中生全員の期待が自分たちの肩にかかっていることを忘れずに、最後まで諦めない『北中魂』を大会会場で見せてほしいと思います。

最後になりますが、今から二ヶ月後には、新人大会が始まります。それに向けての取り組みはもうスタートしていますか。決して早すぎることはありません。